

仕様書

1 業務名称

札幌国際芸術祭公式ウェブサイト制作業務

2 業務目的

札幌国際芸術祭実行委員会（以下「委託者」という。）は、札幌国際芸術祭（以下「SIAF」という。）に関する継続的な情報発信やイベントの開催等を通じ、市民を中心に芸術祭への興味・関心を喚起し、SIAF2027（2027年1～2月開催予定）の来場者増加と盛り上がりを促すことを目指し、SIAF公式ウェブサイト（以下「公式サイト」という。）の制作を行うこととしている。

これまで、SIAFの情報発信は、日常的な活動を紹介する「ポータルサイト」と、3年に一度開催される芸術祭の「特設サイト」の2つに分けて運用してきたところだが、本業務では、これら2つのウェブサイトの機能を統合し、一貫した情報提供を行う公式サイトの構築・運用を行うもの。

SIAFの日常的な活動からSIAF2027までの流れを分かりやすく伝え、開幕までの期待感を醸成するとともに、利用者が必要な情報へ円滑にアクセスできる仕組みを整えることを目的とする。

3 業務履行期間（予定）

契約締結日から令和9年3月31日まで

※ 当初契約期間は令和8年3月31日までとする。令和8年4月1日以降については、令和8年度予算の議決等、諸条件を満たした場合に契約を行う。

4 業務内容

(1) 公式サイトの制作

以下の業務内容については、2か年で履行するすべての業務であり、提案内容や協議を踏まえ、令和7年度中の業務内容を決定する。

公式サイトの制作にあたっては下記の条件を参考にすること。

ア プロジェクト推進体制

公式サイト公開までの一連の工程を管理・推進する体制を構築すること。また、

進捗状況の把握や課題解決について、委託者との適切なコミュニケーションを図ること。

イ 公式サイトの役割

公式サイトから発信する情報は、時期により優先度が変動するため、その優先度の変化に応じて柔軟に対応できる仕組みとすること。詳細は4-(1)-コ参照

ウ 想定ユーザー

札幌市/札幌国際芸術祭実行委員会が主催する芸術祭として、広く札幌市民全般をターゲットとしているが、初回のSIAF開催から10年が経ち「アートに関心の高い札幌市民」には一定の認知がなされていることもあり、現在は主に「アートに関心の薄い札幌市民」に注力している。そのため、幅広いユーザー層が直感的に操作できるよう、UI/UXの充実などアクセシビリティの観点から工夫を図ること。（詳細は仕様書別紙参照）

エ ランディングページ作成機能

本公式サイトにおいて、委託者が、いくつかのランディングページを作成することを想定していることから、トップページやメニューからランディングページへの動線が引けるような機能を実装すること。

○ランディングページ（例）

(ア) プレイベントページ

プレイベント（2025年度冬季に実施予定）のイメージビジュアル、企画趣旨、参加アーティストの紹介や関連イベントの情報などの掲載を想定

(イ) ターゲットごとのニーズに合わせたページ

平易な表現を用いた子ども向けページ、日本や札幌に関する情報から始まる海外からの観光客向けページ、SIAF2027の各会場をあるテーマのもと横断的に紹介するページなど

(ウ) アーカイブ動画やSIAF関連書籍などの紹介ページ

これまでSIAFで作成したコンテンツ、これから作成するコンテンツをシリーズとして紹介するページ

(エ) 多言語対応ページ

本公式サイトでは、日本語を基本とするが、日本語話者以外の利用者にも適切な情報を提供するため、多言語対応を実装する。

対応方法については、以下の観点を考慮し、ユーザーがスムーズに適切な言語

のページにアクセスできる UI/UX 設計を提案すること。

- ・各言語のテキストは委託者が用意することとし、日本語サイトの全ページを対象とするのではなく、必要な情報を抽出して翻訳及び掲載することを基本とする。

- ・英語は必須とし、韓国語、簡体字（中国本土）、繁体字（台湾・香港）の対応も想定する。

オ 閲覧環境

スマートフォンでの閲覧環境を最優先とし、レスポンシブ・ウェブデザインを採用して PC からでも閲覧可能とする。

カ ウェブアクセシビリティ

ウェブアクセシビリティ向上のため『JIS X 8341-3:2016』の等級 AA に準拠することを目標とし、対応状況を確認・報告すること。また、対応結果をウェブサイト上に公開すること。準拠の例外となるコンテンツが生じる場合には委託者と対応を協議すること。

キ CMS

CMS については Word Press を使用することを基本とするが、協議の上、別の CMS を用いることも可能とする。

ク 更新作業の効率化

公開する内容は、原則として委託者が更新・公開できるようにすること。カスタムフィールドを用いるなど CMS の専門的な知識がなくても更新できるような管理画面を用意すること。また、アーティスト情報や会場情報など、同一の情報が複数のページで統一的に反映される仕組みを整えるなど、委託者の作業が効率化できるようにすること。

ケ アクセス分析

GDPR に対応したアクセス解析ソフトを導入すること。

コ 構成

受託者の提案する素案をもとに、委託者と受託者が十分な協議を行い、ページ構成及びワイヤーフレームを決定すること。掲載必須のコンテンツは以下のとおり。

(7) 通年の掲載事項

- ・ SIAF2027 開催概要
- ・ お知らせ（随時更新できる仕組みとする）

- ・普及イベント情報（イベント毎に随時更新できる仕組みとする）
- ・SIAF 基本情報
- ・過去の SIAF
- ・Cookie 同意

(イ) 第1回記者発表後の追加事項（令和7年12月頃を予定）

- ・SIAF2027 詳細情報
 - ーアーティスト、会場情報
- ・SIAF2027 プレイメント情報（イベント開催前と終了後で表示に変化をつけること）

(ウ) 第2回記者発表後の追加事項（令和8年10月頃を予定）

- ・SIAF2027 詳細情報
 - ーチケット（EC サイトは委託者が別途用意する）、会期中のイベント、多言語対応ページ

(エ) 会期直前～会期中（令和9年1月～2月頃を予定）

- ・当日のイベント情報
- ・展覧会及びイベントのレポート

上記に加え、本業務の趣旨に合致し、目的達成に効果が見込まれる内容があれば、提案に含めることができる。また委託者と協議の上、項目の追加が行われる可能性がある。

サ デザイン

契約後、ワイヤーフレームに基づく協議の結果を反映し、受託者が複数のレイアウト案を提示、委託者との協議により最終デザインを決定する。なお、プロポーザル時点では、SIAF2027 に向けたアートディレクションは行われていない。よって、後日委託者から提示する色彩、ロゴ等を適合しやすいデザインにすること。必要に応じて、アイコン、字幕、コンピューターグラフィックス、イラスト、動画などを挿入し、視認性、分かりやすさ、及びSIAFの魅力を演出すること。

シ コンテンツ入力・移行

新たに構築する公式サイトへのコンテンツ移行作業については、テキストや画像を主体とした静的コンテンツページの登録作業は基本的に委託者が行うが、動画・アニメーション等の動的要素を含むページなど、専門的な実装を要する部分の反映作業は受託者が担当するものとする。なお、具体的な範囲および役割分担について

は事前に双方で協議を行うこと。

(2) 公式サイト公開

ア 4-(1)にて制作した公式サイトについて、令和7年12月に実施を予定しているSIAF2027の大規模な情報公開に向けて、11月中旬からウェブサイトを開示する予定である。その後「4-(3)公式サイトの更新等」に示す方法で随時更新できるようにすること。正式な公開時期及び公開する内容の詳細については、委託者と協議のうえ決定する。

イ 制作したコンテンツについては、サーバー内のテスト領域にアップロードし、リンクチェック、HTMLエラーチェック、ブラウザチェックを行い、公開前に必ず委託者の了解を得ること。なお、ブラウザチェックについては以下のとおりとする。

(ア) スマートフォン（最優先）

iPhone (iOS 15以降) : Safari、Google Chrome 最新版

Android (Android 10以降) : Google Chrome 最新版

(イ) タブレット

iPad (iOS 15以降) : Safari、Google Chrome 最新版

Android タブレット (Android 10以降) : Chrome、Firefox 最新版

(ウ) デスクトップ

Windows (Windows 10、11) : Microsoft Edge・Google Chrome・Firefox 最新版

Mac (macOS 11以降) : Safari、Google Chrome・Firefox 最新版

ウ 原則として、初期構築分の公開後1か月間を保証期間とし、受託者に起因する動作不良等トラブルに対応すること。

(3) 公式サイトの更新等

原則として、委託者が更新・公開できるようにすること。なお、デザインやフレームの改修が必要になった場合は別途協議する。

(4) サーバーについて

予定している構成は下記のとおり。なお、ドメイン及びサーバー（テスト環境を含む。）は委託者が用意する。

- ・ レンタルサーバー契約内容（予定）

Amazon EC2

- ・ ウィルス対策ソフト

市販品導入

- WEB サーバーサービス

Apache / nginx

- WEB サーバー機能

PHP8.1 以上 / MySQL 8 系

- ファイル転送方法

SFTP 接続 (FTP 接続は不許可)

- サーバー管理方法

公開鍵方式による SSH 接続 CPU、メモリについては、オートスケール又はアクセス負荷に対応するものを選定予定。公式サイトの仕様が決定次第、選定する。その他、サーバーの構築及び運用保守に関わる役割分担は以下の通りとする。

項目	委託者	受託者
本番およびテスト環境用途のサーバーセットアップ (OS/各種ミドルウェアのインストールから設定)	○	
WordPress インストール (各種プラグイン含む)	※必要に応じて受託者と協議する	○
WordPress インプリメンテーション (主にテンプレート実装と管理画面設定変更)		○
サーバー環境 (本番とテスト) の運用保守	○	
WordPress に対するアプリケーション保守 (導入プラグイン含む)	※必要に応じて受託者と協議する	○

(5) 業務範囲

システム全般の保守・運用を目的として、以下の業務を行う。

ア ウェブアプリケーションの脆弱性への対応

ウェブアプリケーションの脆弱性への対応については、最低でも IPA が下記のとおり公開している「ウェブ健康診断仕様」にある項目の中以上を達成すること。

http://www.ipa.go.jp/security/vuln/documents/website_security_shindan.pdf

イ システムに関する問い合わせ等への対応

システムに関し、本業務または本業務に関連する事項について、委託者から依頼や

問い合わせがあった場合、適切な助言を行うとともに、必要な支援を行うこと。また、運用の安定化、効率化に繋がる事項等については委託者に積極的な提案を心がけること。なお、問い合わせ対応時間は、基本的に平日の9時から17時までとするが、障害発生等の緊急時は可能な範囲で対応すること。

ウ ファイアウォールの運用及び保守

委託者において行うが、公式サイト制作にあたり管理等が必要となる場合は、別途協議する。

エ 障害発生時の対応

ウィルス感染、プログラムの不具合、ハードウェア故障等により、システムに障害が発生した場合に、原因の切り分け及び復旧対応を行える人員体制を整えて、サーバーの保守を担当している者と協力して対処すること。なお、障害が発生した場合の復旧対応については、必要に応じて別途委託する。

オ 受託者側で調達する機器等

サーバーにSSHでリモート接続するための端末(OS、ウィルス対策ソフト等を含む)及びインターネット環境は受託者側で用意すること。リモートによるサーバー接続サーバーにリモート接続する端末は、以下の項目を満たしていることを条件とする。

- (ア) 設置場所については、関係者以外の出入りを制限でき、かつ、施錠管理可能な執務室内からのみ接続することとし、無線LAN経由でサーバーに接続しないこと。なお、個人情報保護が担保できる環境下であればVPN接続を経て執務室と同様のネットワーク環境での作業も可とする。
- (イ) 端末にはウィルス対策ソフトを導入し、常に最新のパターンファイルに更新すること。またOSはセキュリティパッチ等をあて、常に最新の状態を保つこと。
- (ウ) Winny等のP2Pソフトを導入した端末で接続しないこと。
- (エ) 個人所有の端末でサーバーに接続しないこと。
- (オ) その他、疑義があれば委託者と協議し、委託者が不相当と判断する管理運用行わないこと。

カ その他注意事項

- (ア) 受託者がサーバーへのアップロードのために用意するアカウントやパスワードは、管理を徹底し外部に漏洩しないように適切に保管すること。サーバーには、委託者の承認するコンテンツのみをアップロードすることとし、サーバーへの独自ソ

ソフトウェアやデータベースソフト等のインストールが必要な場合は委託者の許可を得て行うこと。

(イ) 地方自治情報センターで提供される自動の診断システムにより、札幌市が実施する WEB 診断、ネットワーク診断の結果、脆弱性等が発見された場合は、協議の上、必要な対策を行うこと。

(ウ) 各システムで使用する ID パスワードは異なるものとする。

(エ) WordPress 及び導入するプラグインについては受託者が随時アップデートを行うこと。

5 データについて

委託者が提供するサーバー内に保存すること。アクセスログ分析ツールは委託者側で導入する予定であるが、受託者において必要な設定等がある場合は対応すること。

6 業務の報告

ウェブサイトの構成、デザイン、新規公開コンテンツ、CMS 操作マニュアルについて、都度委託者に報告すること。また、既存コンテンツの更新状況、アクセス数、セキュリティ対策診断結果等について、定期的に委託者に報告すること。なお、報告の頻度やタイミングについては委託者と協議のうえ決定する。

7 納品物

以下に記載するものを電子データ等で納入する。このほか、所定の業務完了届を併せて提出すること。

(1) 納品内容

- ・公式サイトの html ファイル
- ・デザインデータ
- ・動作検証完了が確認できるもの
- ・その他公式サイト制作に係る制作物一式

(2) 納品場所

札幌国際芸術祭実行委員会事務局

札幌市中央区北 1 条西 2 丁目札幌時計台ビル 10 階

8 緊急時の連絡体制

緊急時に対応ができるよう、委託者、受託者、その他関係者間の緊急時連絡体制図を整備し、常に最新に保つこと。また、体制図を委託者へ提出すること。

9 環境への配慮

本業務においては、本市の環境マネジメントシステムに準じ、環境負荷低減に努めること。特に以下の項目については遵守すること。

- (1) 電気、水道、油、ガス等の使用にあたっては、極力節約に努めること。
- (2) ごみ減量及びリサイクルに努めること。
- (3) 両面コピーの徹底やミスコピーを減らすことで、紙の使用量を減らすよう努めること。
- (4) 自動車等を使用する場合は、できるだけ環境負荷の少ない車両を使用し、アイドリングストップの実施など環境に配慮した運転を心がけること。
- (5) 業務に係る用品等は、札幌市グリーン購入ガイドラインに従い、極力ガイドライン指定品を使用すること。

10 特記事項

- (1) 受託者は業務スケジュールについて委託者と十分打ち合わせの上作成し、契約後速やかに提出すること。
- (2) 受託者は、業務の実施にあたり、委託者の指示のもと、必要な準備、資料の作成、打合せ、外部への説明等を行うこと。なお、資料を作成する場合は、図化するなどわかりやすいものとする。
- (3) 受託者は、完成までに複数回の確認作業を委託者と行い、ウェブの構成やデザインを協議するものとする。
- (4) 受託者は、常に業務の進捗管理を行うとともに、その状況について委託者の求めに応じ報告をすること。
- (5) その他、本仕様書に記載されていない事項については、委託者と協議し、指示を受けること。

11 その他

- (1) 本業務履行にあたり、疑義が生じた場合は、委託者及び受託者双方の協議により

処理する。

- (2) 本業務履行にあたり、委託者は、受託者が必要とする資料の提供について便宜を図るものとする。
- (3) 委託者又は委託者の関係者から提供を受けた資料等は、本業務にのみ使用するものとする。但し、第三者に提供する場合であらかじめ委託者の承諾を得たものについてはこの限りではない。
- (4) この業務の遂行にあたり、必要がある場合は相互調整のために打合せを行うものとする。
- (5) この業務の遂行に伴う打合せ、資料、計画等の内容については、外部に漏洩しないこと。
- (6) 受託者は、委託業務の成果物に対し、本業務で新規に制作した成果物に限り、著作権法（昭和45年法律第48号）第21条から第28条に規定する権利は、成果物の引渡しと同時に委託者に帰属するものとする（既存のOSSや第三者提供物は除く）。委託者は、著作権法第20条（同一性保持権）の第2項第3号又は第4号に該当しない場合においても、その使用のために目的物の改変し、また任意の著作者名で任意に公表することができるものとする。
- (7) 原則として、本業務の全部または一部を第三者に委託（以下「再委託」という）してはならない。なお、再委託を行う必要がある場合は、再委託の範囲及び理由を明確にし、事前に委託者の承認を受けること。ただし、再委託を行うことが本業務の趣旨及び内容と照らし合わせて不相当と認められる場合は、承認しないことがある。
- (8) 本業務に係る全てのサイトは、原則として「札幌市公式ホームページガイドライン」を参考に設計することとするが、クリエイティブなデザインやコンテンツを実現するために協議が必要な場合は、随時相談すること。

札幌市公式ホームページガイドライン（概要版）

<https://www.city.sapporo.jp/koho/hp/guideline/outline.html>